

大規模災害を想定した 多言語情報提供のための図上訓練

三重県には、約100か国、41,250人の外国人住民が暮らしており、外国人観光客も増加しています。

このような中、南海トラフ巨大地震のような大規模災害が起きたとき、どのように正しい情報を届け、安心してもらうことができるでしょうか。

この訓練では、災害多言語支援センターや避難所での支援活動を実際に行ってみるにより、必要な事前準備事項を明らかにし、今後の災害時の備えを考える機会とします。



日時 平成28年 **2月6日(土)**
10:00~15:00

会場 **みえ県民交流センター 交流スペースA**
(三重県津市羽所町700番地 アスト津3階)

対象 行政(多文化・防災関係部署)、国際交流協会、社会福祉協議会、外国人支援および災害時の支援活動実施団体、外国人団体、メディア関係者、災害時外国人サポーター研修修了者を含む地域住民の方々

受講無料
定員40名
要申込

開催内容

プログラム

- 【10:05~10:35】 **講演**
三重県の被害想定及び避難所の機能について
(三重県防災対策部 防災技術指導員 小宮 貞則さん)
- 【10:40~14:20】 **実践**
仮想被災市町における災害時外国人支援の実践
 - ・災害状況と被災外国人の状況把握
 - ・地域における外国人支援方法の決定と実践
(多言語支援センターの開設 / 避難所支援など)
- 【14:20~15:00】 **ふりかえり**
訓練のふりかえり&講師評価

講師紹介

(特活) 多文化共生マネージャー全国協議会
理事 **高橋 伸行さん**

多文化共生マネージャーは、日本に暮らす外国人住民の自立支援に向けた事業の企画立案研修受講者で組織されるエキスパート集団。中でも、災害時の外国人住民支援では、新潟県中越・中越沖地震や東日本大震災の際、現地や遠隔地から支援活動を行いました。

理事の高橋さんは、現在、全国の自治体をはじめ、国際交流協会などが実施する研修会などの講師を務めています。

お申込みは
こちらまで!

FAX 059-223-5007
E-MAIL mief@mief.or.jp



●定員

40名（先着順）

●申し込み方法

所定の用紙に記入の上、平成28年2月4日（木）までに下記宛てに電話、FAX、E-mail、又は郵送でお申込みください。

大規模災害を想定した多言語情報提供のための図上訓練 申込書

お名前	(ふりがな)		
TEL		FAX	
E-MAIL			
所属先	<input type="checkbox"/> 自治体職員 (市/町)		
	<input type="checkbox"/> 社会福祉協議会職員 (市/町)		
	<input type="checkbox"/> 防災組織/防災ボランティア (市/町)		
	<input type="checkbox"/> 国際交流協会会員 (市/町)		
	<input type="checkbox"/> MIEF 災害パートナー		
	<input type="checkbox"/> 災害時外国人サポーター研修修了者		
	<input type="checkbox"/> 災害時外国人支援に関心を持っている（一般参加者）		


お申込み/お問い合わせ：

(公財) 三重県国際交流財団

〒514-0009 三重県津市羽所町 700 番地 アスト津3階 (JR/近鉄津駅東口より徒歩1分)

TEL/FAX: 059-223-5006 / 059-223-5007

URL: www.mief.or.jp E-mail: mief@mief.or.jp

 MIEF 三重県国際交流財団

 @MIEFsince1991



QR コード